臼杵市 施策評価シート (平成29年度)

≕不	課名	氏名	内線
評価 担当者	消防本部	三原 徹	1512

コード	VI I−21−51	施策名	救急体制・消防力の充実
施策の 方針			安心安全な暮らしを守り支える
まちづく り の方針		豊力	かな自然環境で市民が潤い、活力あふれるまち(生活環境)
施策の 目的	て暮らすことができるよ	うに環境を整備	られ、多くの市民が緊急時でも慌てることなく的確に行動することが出来るようにし、どこでも安心し 構します。また、火災、事故等の各種災害から住民の生命、身体、財産を守り、安心、安全で災害に 盤の強化を図り、消防装備の充実と、市民の防災意識の高揚に努めます。
	・救急業務では医療機	関との検証会認	養、訓練、演習を通じ連携協力体制を図り、隊員に対する専門的な知識・技能の向上のため教育訓

内容

/ +匕+声 `

新規	指標 <i>></i> 七抽夕	説明・算式・引用	実績の推移						H31目標値	
指標	指標名	就明・昇玖・コ田		単位	H26	H27	H28	H29	H30	上段:当初 下段:現在
		110平层から田担列学士	目標	分		7.3	7.3	7.2	7.2	7.1
	救急車の現場到着時間の短縮	119受信から現場到着まで(全国平均8.6分)	実績	73	7.30	7.3	7.5	7.6		
		C(至国下约0.0万)	達成率	%	-	100.0%	103.4%	105.6%		
			目標	人		18	19	20	21	22
	救急救命士資格の取得人数	取得者数(累計)	実績		17	18	19	20		
			達成率	%	-	100.0%	100.0%	100.0%		
	学校や地域における救急救命		目標	人		1500	1500	1500	1500	1500
	講習会の参加者数	受講者数	実績		1200	1200	2181	2558		
			達成率	%	-	80.0%	145.4%	170.5%		
	火災発生件数の減少	火災件数	目標	件		14	13	12	11	10
			実績		14	14	17	28		
			達成率	%	-	100.0%	76.5%	42.9%		
		条例定数800名に対する	目標	%		99.00	97.75	98.25	98.75	99.00
	消防団加入率	消防団員加入率	実績		98.13	97.25	98.00	95.75		
			達成率	%	-	98.2%	100.3%	97.5%		
	安心安全お届けサービスの実		目標	件		3150	3180	3210	3300	3350
	施件数	実施件数(累計)	実績		3150	3150	3180	3250		
			達成率	%		100.0%	100.0%	101.2%		
			目標							ļ
			実績							ļ
	N A		達成率	%						

指標の分析

救急車の到着時間については、短縮に至らなかったが、高機能指令センターの機能を最大限に活用し時間短縮を図りたい。 秋急救命士の取得については、計画的に実施できている。 救急救命計の取得については、計画的に実施できている。 救急救命講習については、年々、受講者が増加している。 火災発生件数の削減については、防火広報等を行い、市民への防火意識の向上を図る必要があります。 消防団員の確保については、地域の方々に呼びかけを行い団員を募集していくことが必要です。 安心安全お届けサービスの実施件数は年々、訪問件数を増やしている。

<市民意識調査結果>

	領域名	必要度	満足度	満足度		
市民意識調査	維持領域	2.60	1.89	2.05 1.90	見直し領域	<u>維持領域</u>
結果 (H29調査)		アンケー し 仕田 で	(十「心亜苺「洪	1.75		*
	・平成29年度実施のアンケート結果では、「必要度」「満足度」ともに高く、「維持領域」に位置しており、取り組みの			1.60		
	維持・継続が望まれて アンケート結果によれ		キゎ ケいることか	1.45		
<u>-+-</u> ┌┐ <u></u>	ら、今後も救急体制・消 必要と思われます。			1.30	<u>検討領域</u>	<u>強化領域</u>
市民意識調査 結果分析	必安に心1710より。			1.15	05 000 045 06	20 245 250 275
				1.	85 2.00 2.15 2.3	30 2.45 2.60 2.75 必要度

<次年度以降の課題>

平成30年度以降 の課題

救急体制の充実については、高齢者の増加等により救急車の出動回数は増加していますが、いち早く現場到着できるよ

う、更なる時間短縮に取組む必要があります。 消防力の充実については、野焼きによる火災件数が増加しているため、啓発活動等を行う必要があります。 消防団員の確保については、サラリーマン団員の増加に伴い事業所の理解が不可欠であるため、「消防団協力事業所 表示制度」を普及する必要があります。

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

<於	<施策を構成する主な事務事業一覧表> 担当課 課の 事業費(単位:千円) コロー は 他の									
				課の	事業費	(単位:	千円)	====	公共	他の
	事務事業名	事業内容	※実施 した課 を記入	重点 ※運営計 画記載	H28年度 実績	H29年度 実績	H30年度 見込み	課長評価	(5 _カ 年	関連施策 コード
1	救急出動業務	応答時間(覚知から現場到着まで の時間)	警防課	0	262,171	-	-	継続		
2	救急救命士育成業務	救急救命士を毎年育成し、救急体 制強化を図る	警防課	0	2,473	2,473	2,473	継続		
3	普通救命講習事業	市民への応急手当の普及	警防課	0	-	ı	-	継続		
4	無火災事業	広報車による防火広報・避難訓練 及び防火講話を行い火災件数の 削減を図る	予防課	0	-	-	_	継続		
5	消防団加入促進事業	自治会や各事業所の協力を得 て、団員を確保する。	総務課	0	-	-	-	継続		
6	安心安全お届けサービス事業	高齢者世帯を訪問し、防火啓発及 び促進を行う。	野津分署	0	-	-	_	継続		
7										
8										
9										
10										
	-			計	264,644	2,473	2,473			

<施策の今後の展開 ~内部評価(内部検討会)>

進捗状況	内部評価
-	_

(臼杵市行財政活性化推進委員会による外部評価:最終	{>
---------------------------	----

評価のコメント	外部評価
	_

〈臼杵市行財政活性化推進委員会を受けての市の取組〉